



# 2010年3月期 決算説明会

期待を超える

2010年5月26日



株式会社 **山善**

代表取締役社長(CEO) 吉居 亨

# AGENDA

- I. 2010年3月期(第64期)決算概要
- II. 中期経営計画「GVP<sub>(re)</sub>15」の総括
- III. 新中期経営計画「VISTA-3S」
- IV. 2011年3月期の業績予想
- V. コーポレートガバナンス、株主還元

## I. 2010年3月期(第64期)決算概要

1. 2010年3月期(第64期)連結損益実績
2. 経常利益の増減要因
3. 部門別売上高実績(連結)
4. 部門別概況
5. 貸借対照表(連結)
6. 財務の状況、キャッシュフロー



## 2010年3月期(第64期) 連結損益実績①

### ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)	2009年3月期 (第63期)	2010年3月期 (第64期)	増減率	公表計画 (修正分)	計 画 対 比 %
売 上 高	325,947	<b>241,410</b>	△ 25.9	230,000	5.0
売上総利益	38,034	<b>30,018</b>	△ 21.1	—	—
販売管理費	31,226	<b>29,182</b>	△ 6.5	—	—
営業利益	6,807	<b>836</b>	△ 87.7	1,130	△ 26.0
経常利益	7,152	<b>955</b>	△ 86.6	1,000	△ 4.5
特別利益	1	<b>1</b>	—	—	—
特別損失	337	<b>30</b>	△ 91.0	—	—
当期純利益	3,791	<b>438</b>	△ 88.4	430	1.9

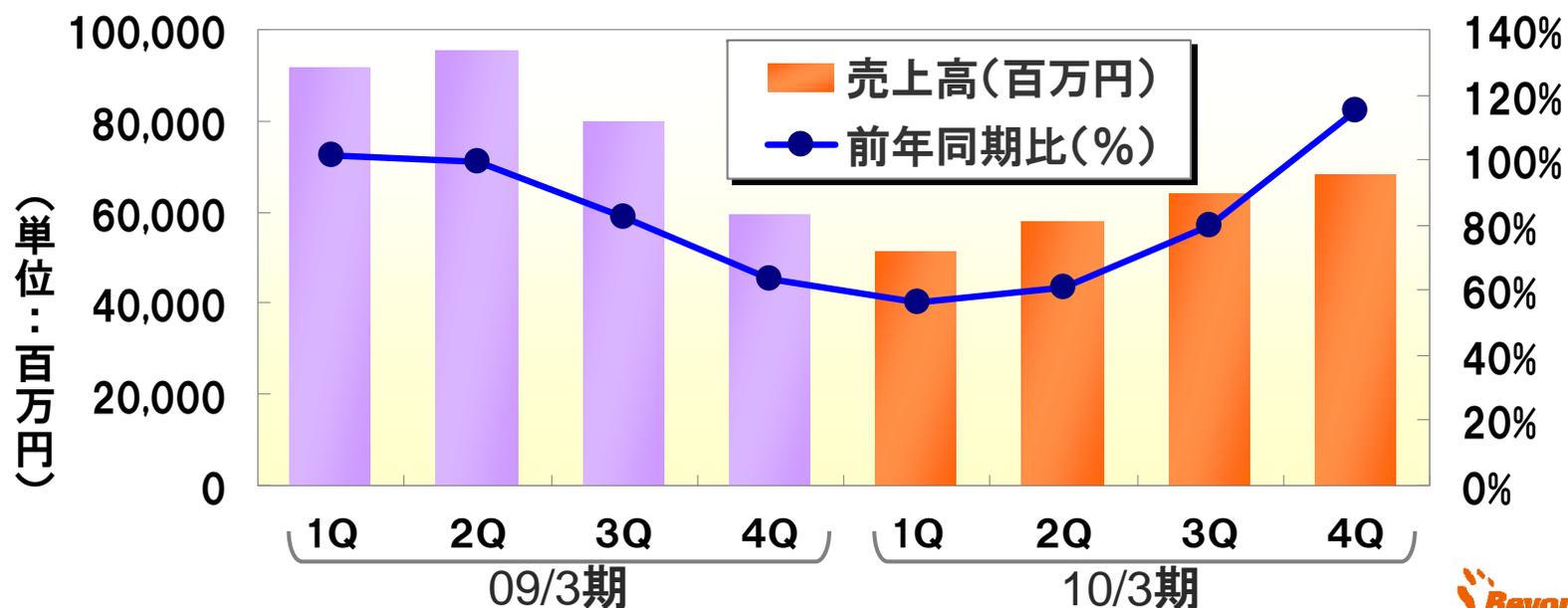
- 国内外設備投資・生産の低迷により、生産財事業全般の業績が低調。一方で、消費財関連の堅調な業績下支えで通期黒字化。



## 2010年3月期(第64期) 連結損益実績②

### ■ 四半期推移

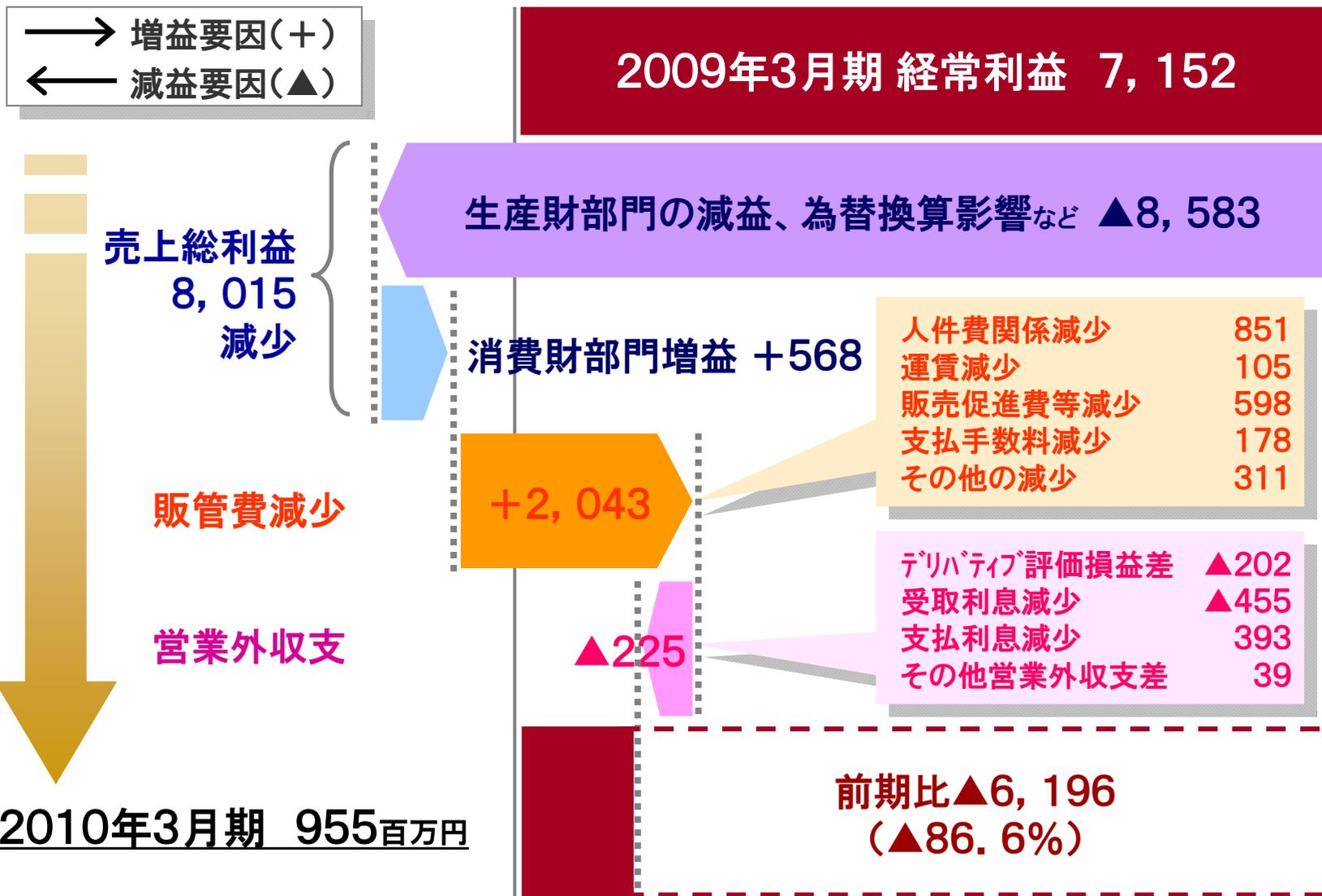
(単位:百万円)	1Q 2009 4-6	2Q 2009 7-9	3Q 2009 10-12	4Q 2010 1-3
売上高	51,506	57,994	63,801	68,109
営業利益	△ 1,071	464	398	1,045
経常利益	△ 1,123	241	593	1,244
当期純利益	△ 737	78	311	786





# 経常利益の増減要因

(単位:百万円)



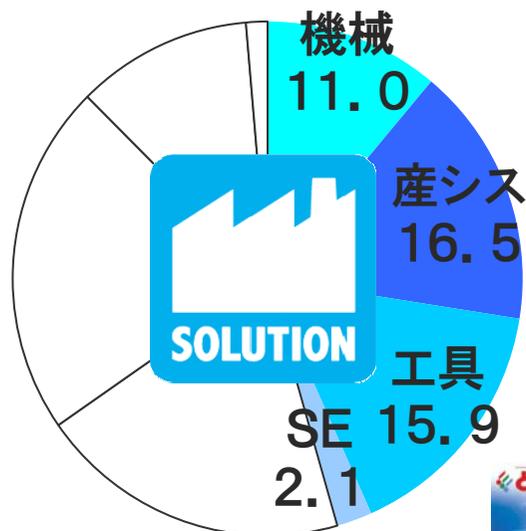


## 部門別売上高実績(連結)

(単位:百万円、%)	2009年3月期 (第63期)	2010年3月期 (第64期)	前期比 増減率	公表計画 (修正分)	計画 対比
工 作 機 械 部 門	68,340	<b>26,529</b>	△ 61.2	24,000	10.5
産業システム部門	55,455	<b>39,754</b>	△ 28.3	39,000	1.9
機 械 工 具 部 門	54,833	<b>38,382</b>	△ 30.0	37,000	3.7
S E 部 門	8,505	<b>5,101</b>	△ 40.0	4,500	13.4
(生産財部門合計)	187,135	<b>109,769</b>	△ 41.3	104,500	5.0
住 設 建 材 部 門	47,494	<b>47,751</b>	0.5	45,500	4.9
家 庭 機 器 部 門	52,128	<b>53,941</b>	3.5	54,500	△ 1.0
(消費財部門合計)	99,622	<b>101,692</b>	2.1	100,000	1.7
国 際 営 業 部 門	35,337	<b>26,774</b>	△ 24.2	22,500	19.0
そ の 他 部 門	3,851	<b>3,173</b>	△ 17.6	3,000	5.8
合 計	325,947	<b>241,410</b>	△ 25.9	230,000	5.0



# 部門別概況①:生産財事業(機械・産業システム・工具・SE)

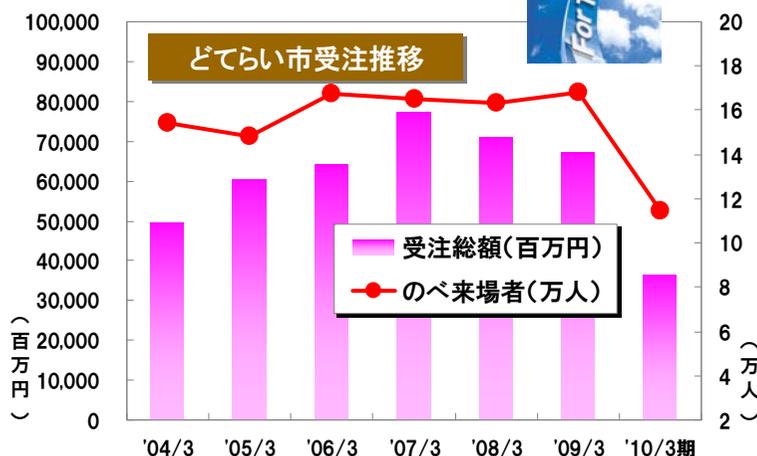


売上高 109,769百万円 (前期比41.3%減)

営業利益※ 344百万円 (営業利益率0.3%)

➤ 主要マーケットである自動車関連業種をはじめ、全業種において設備投資抑制や大幅な生産調整が続き、全部門とも減収減益。

□ 12月以降、工作機械受注が回復、周辺機器へと波及してきたが、先行き不透明感は変わらず。

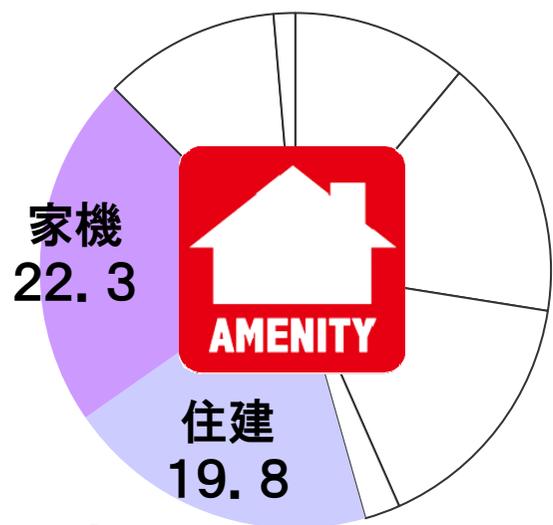


※注記:営業利益(率)は、当期1Qより開示する「セグメント情報(事業別利益)」に準拠した数値です。前回以前で表示しておりました数値(営業利益)とは計算方式が変わっておりますので、予めご了承ください。





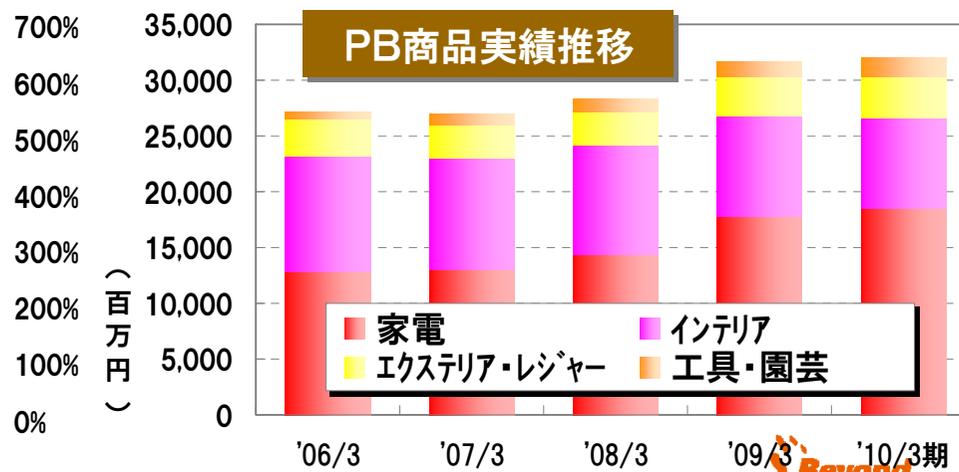
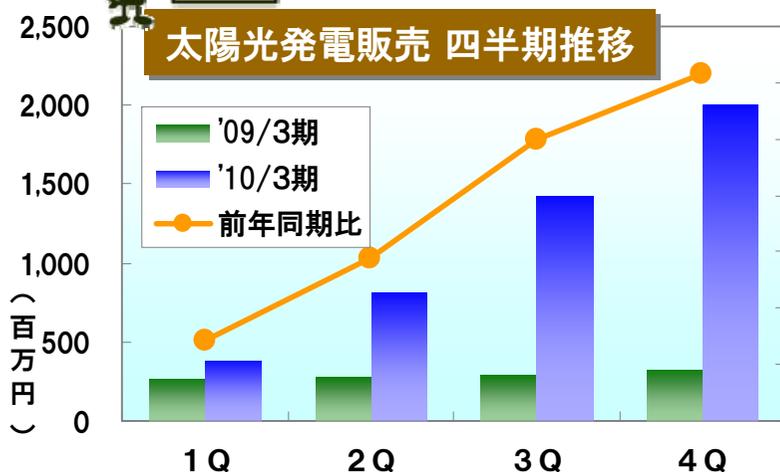
## 部門別概況②:消費財事業(住設建材・家庭機器)



売上高 101,692百万円 (前期比2.1%増)

営業利益 3,437百万円 (営業利益率3.4%)

- 住設建材部門は、住宅市場の縮小続くも、GBP (エコ機器拡販)効果で前年比増収。
  - 太陽光発電、エコキュートの取扱いが急伸。
- 家庭機器部門は、デフレや冷夏・暖冬の影響あるも、売上高は過去最高を更新。
  - 扇風機(羽モノ)198万台、暖房関連245万台、PB含むオリジナル比率は59.4%に。



Beyond Expectation



## 部門別概況③:生産財事業(国際本部)

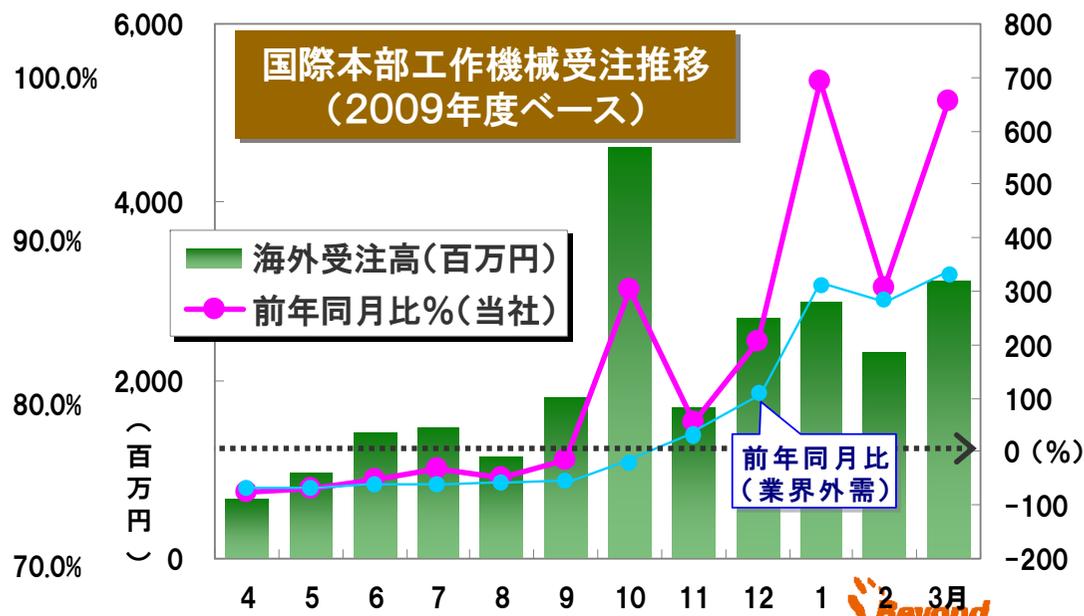
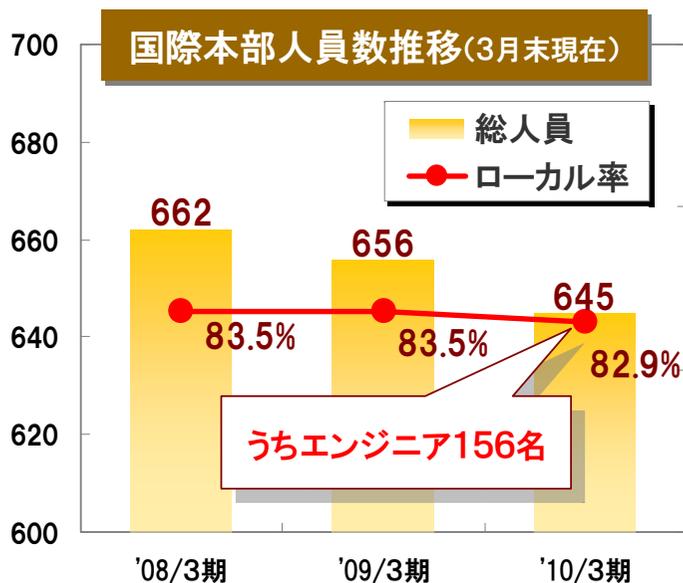


**売上高** 26,774百万円 (前期比24.2%減)

**営業利益** Δ78百万円 (営業利益率一%)

➤ 中国、ASEANを中心に、景気回復基調が鮮明に。下期以降、当社受注も上向き、4Qにはピーク時のレベルに近づく。

□ 主力取扱い製品群は、台数・金額共に前期比増。



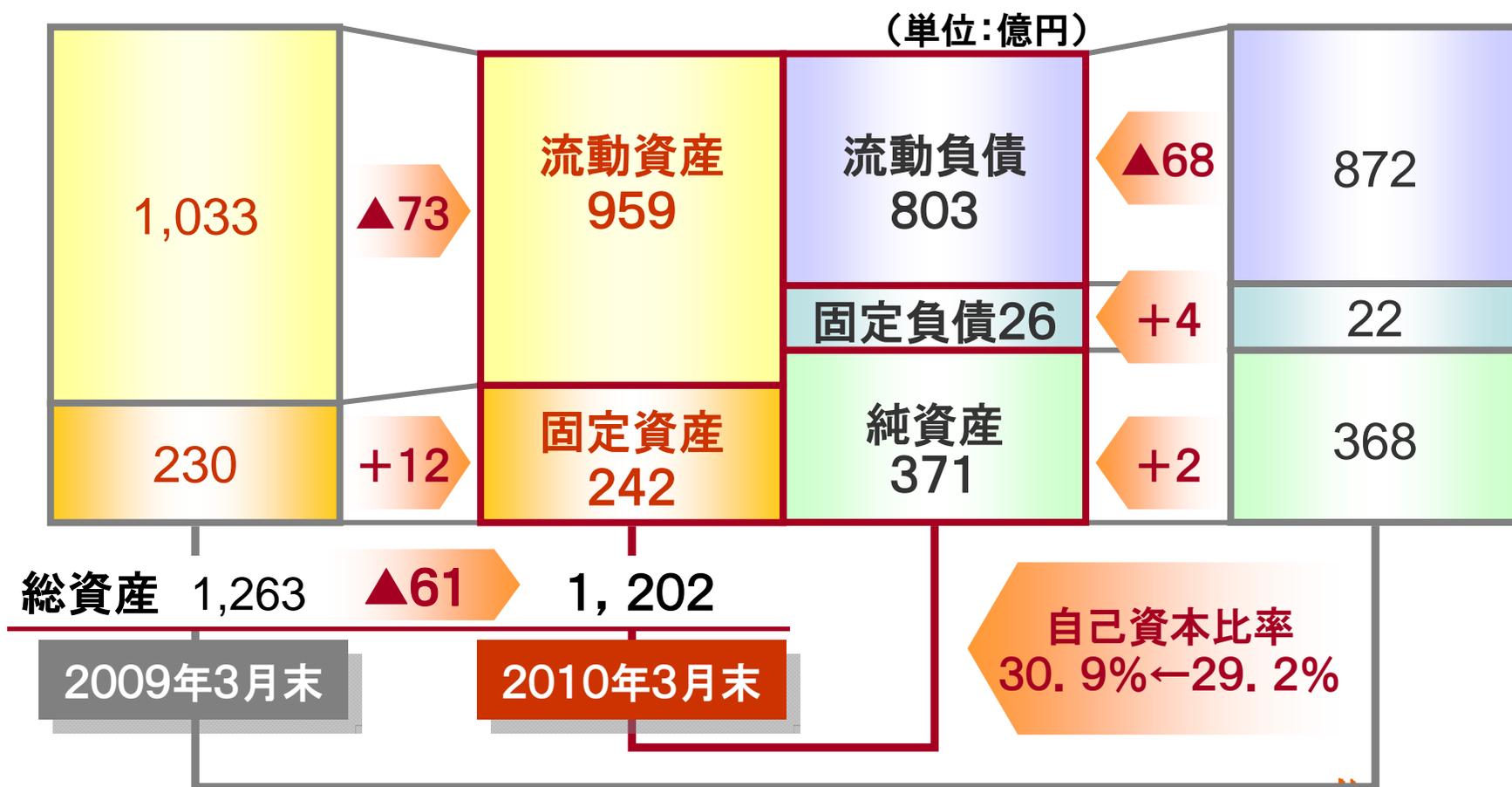


# 貸借対照表(連結)

➤ 売上債権減少・在庫圧縮などで、総資産圧縮。自己資本比率は向上。

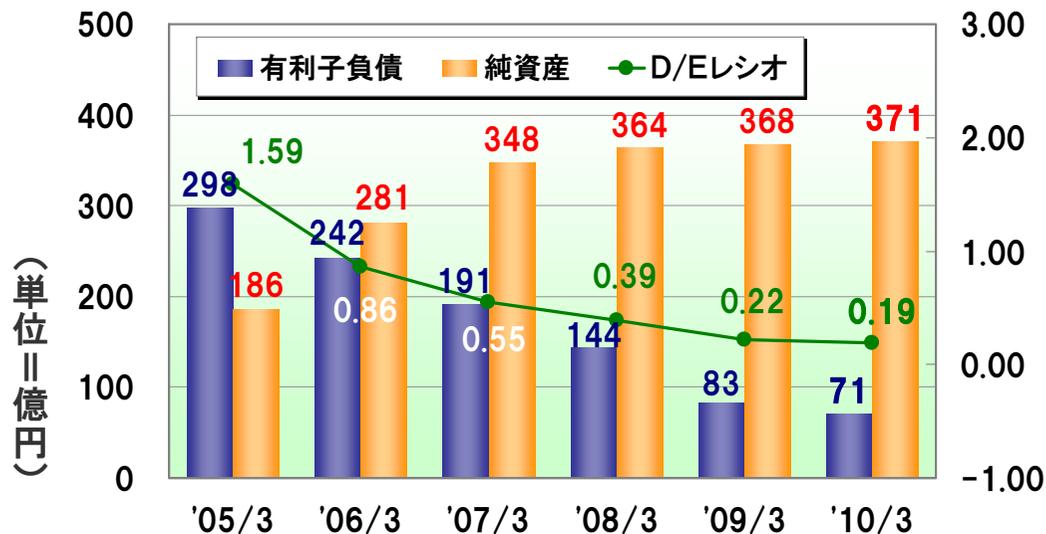
## 資産の部

## 負債・総資産の部





# 財務の状況、キャッシュフロー



➤ 体質強化は着実に伸展。

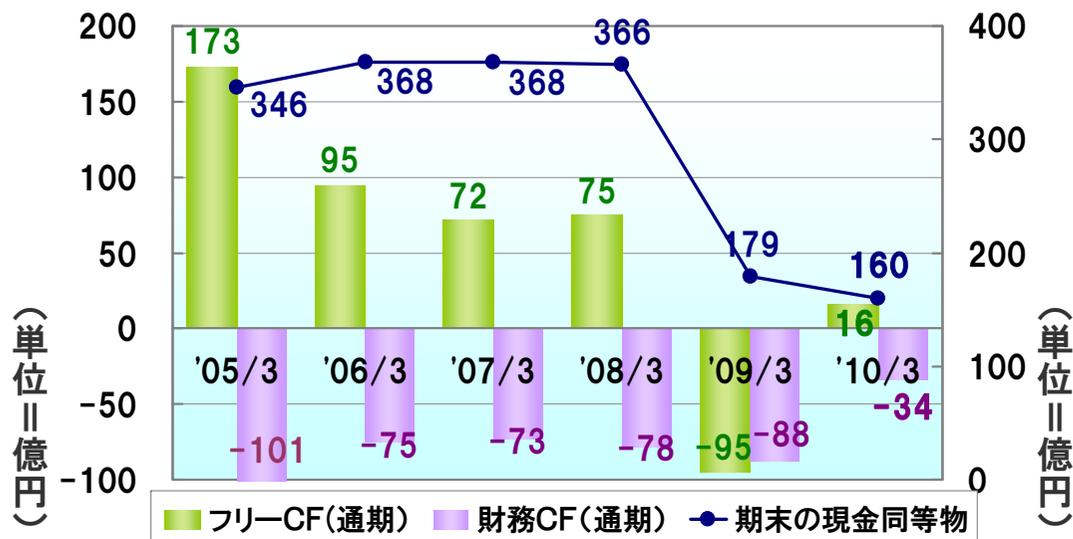
- ➡ 2005年3月末比で有利子負債は8割圧縮、純資産は2倍に
- ➡ D/Eレシオは0.19倍(現預金加味したネットでは△0.25倍)に

※D/Eレシオ=有利子負債÷純資産

➤ フリーCFは黒字(前期マイナス)転換。

- ➡ 財務CFは借入金返済の実施(継続)により△34億円に

※フリーCF=営業CF+投資CF



## Ⅱ. 中期経営計画「GVP<sub>(re)</sub>15」の総括

1. 「GVP<sub>(re)</sub>15」の全体総括／定量実績
2. 「GVP<sub>(re)</sub>15」の定性実績
  - － 環境ビジネス
  - － ネットビジネス
  - － 海外営業の強化



NDマーケティング大賞受賞  
(2010.01)



# 「GVP<sub>(re)</sub>15」の全体総括／定量実績(連結)

2007.04-2010.03

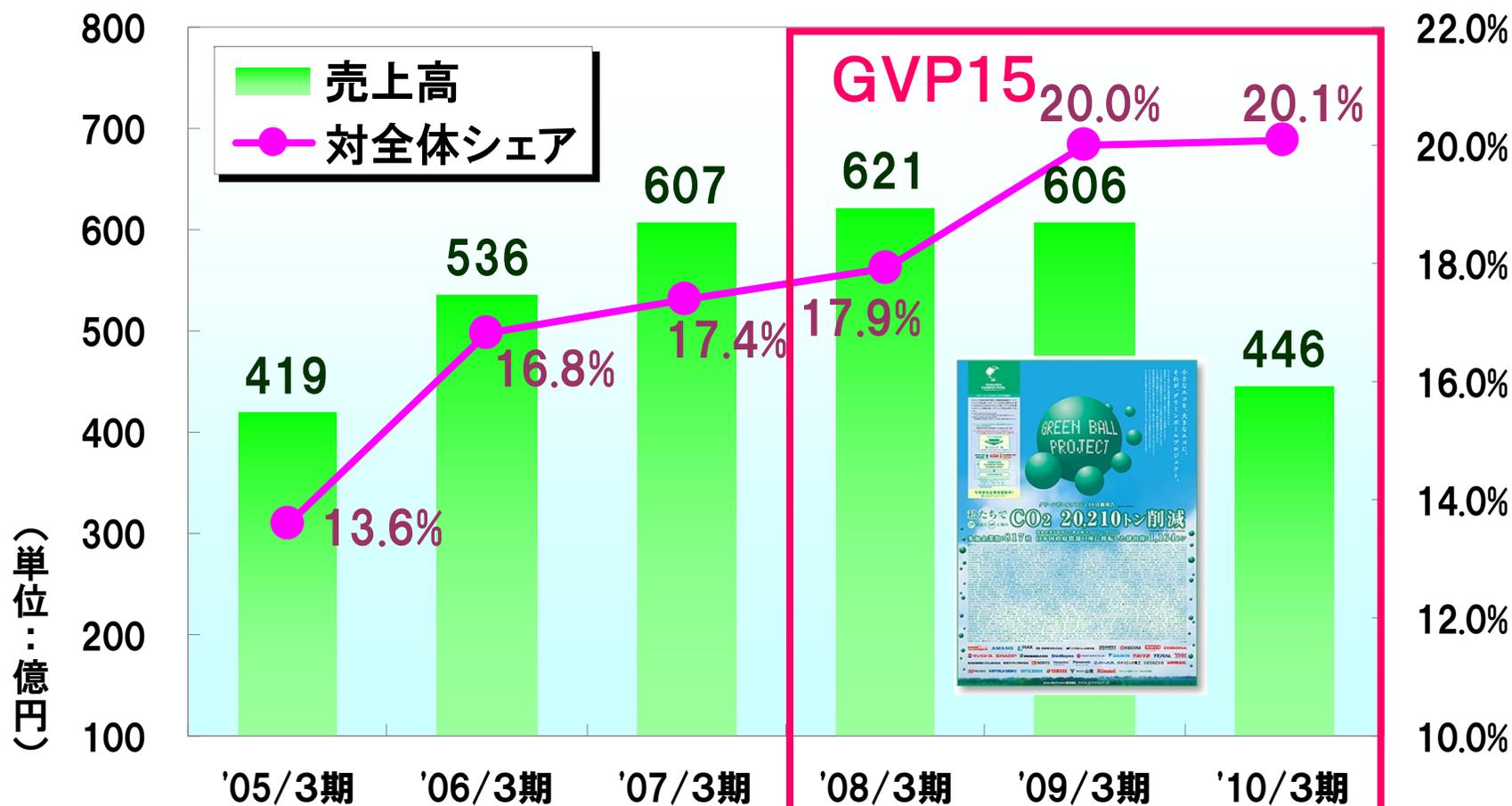


(単位:百万円)	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
売上高	377,610	<b>376,852</b>	<b>325,947</b>	<b>241,410</b>
営業利益	12,317	<b>11,518</b>	<b>6,807</b>	<b>836</b>
経常利益	12,913	<b>11,405</b>	<b>7,152</b>	<b>955</b>
当期純利益	7,506	<b>5,496</b>	<b>3,791</b>	<b>438</b>



## 「GVP<sub>(re)</sub>15」定性実績①:環境ビジネス

- 環境優良商品の全社売上高は446億円、シェアは20%台に。
  - ⇒ グリーンボール・プロジェクト(GBP)参加企業は928社、GBPによる3年累計のCO<sub>2</sub>削減効果は61,448トンの。

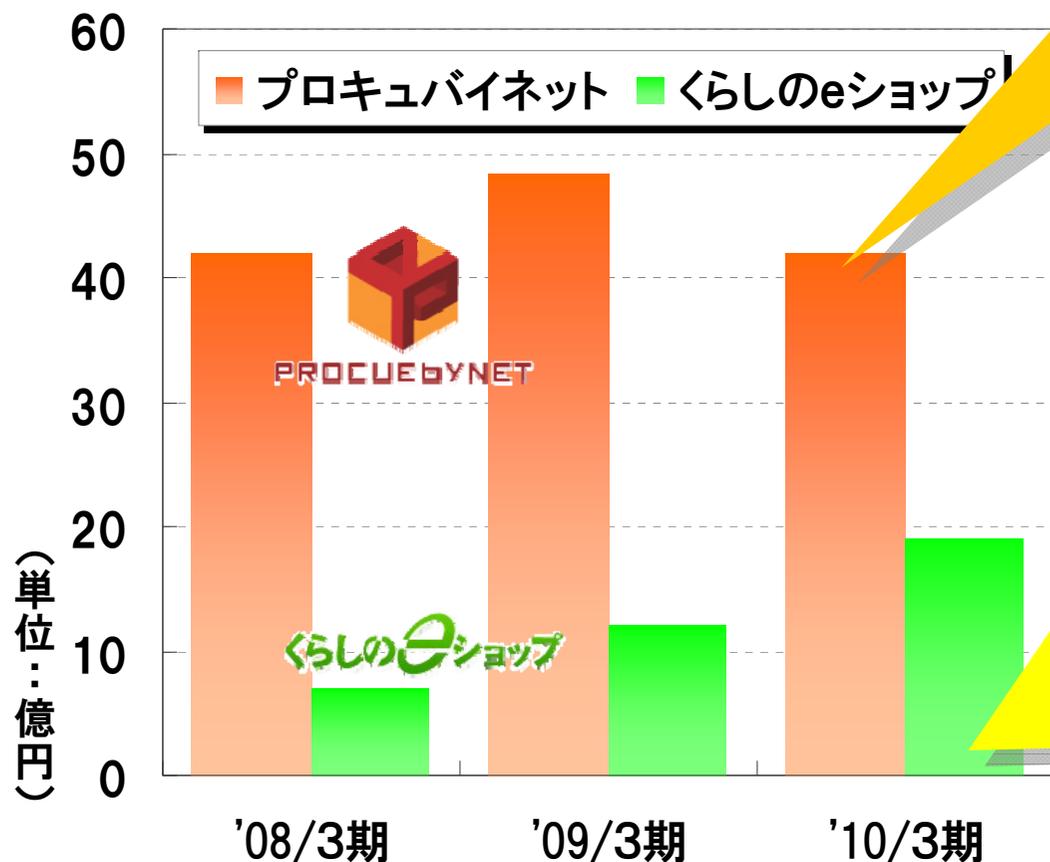




# 「GVP<sub>(re)</sub>15」定性実績②: ネットビジネス

➤ BtoB、BtoCのネット取扱高は61億円に。  
(※EDI取引を除く)

➤ 実商売、ルートを支援・補完するデータ整備  
やプロモーション・サイトを拡充中。



生産財Webカタログ  
「IST(イスト)」をオープン!

充実の商品  
DBとライン  
ナップ!



ブランドサイト「くらす+  
YAMAZEN」をオープン



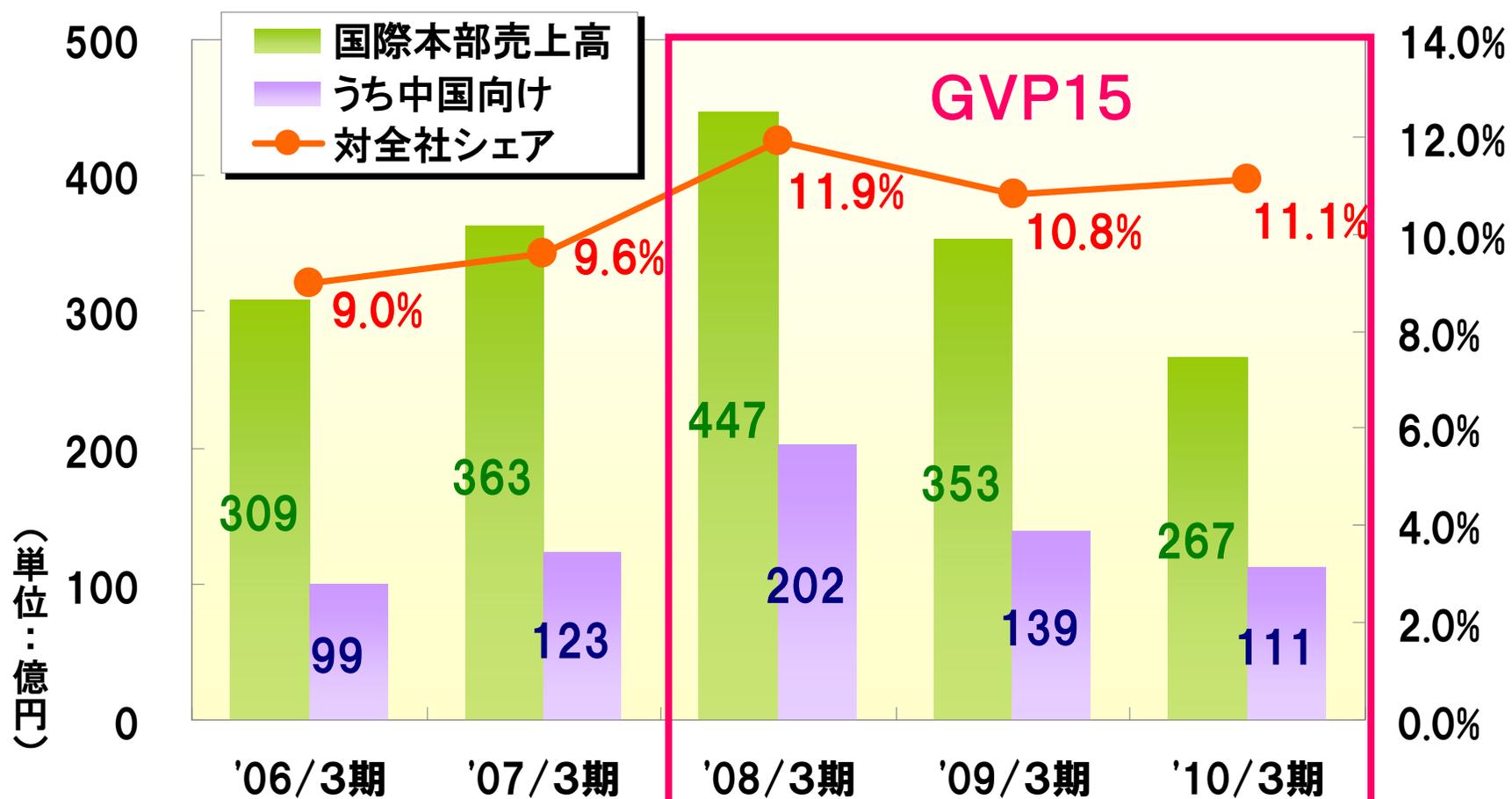
楽天市場  
ショップ・オブ・  
ザ・イヤー3年  
連続受賞!

2年連続でジャンル大賞  
=“ダブルイヤー賞”受賞



## 「GVP<sub>(re)</sub>15」定性実績③：海外生産財の強化

- 5年間で、6現地法人設立、11カ所の拠点を設置。
  - 各地の需要対応、サービス拡充に向けて、営業インフラを整備。
- 海外新規顧客(口座)は、3年で約900社以上(累計)を開拓。



## Ⅲ. 新中期経営計画「VISTA-3S」

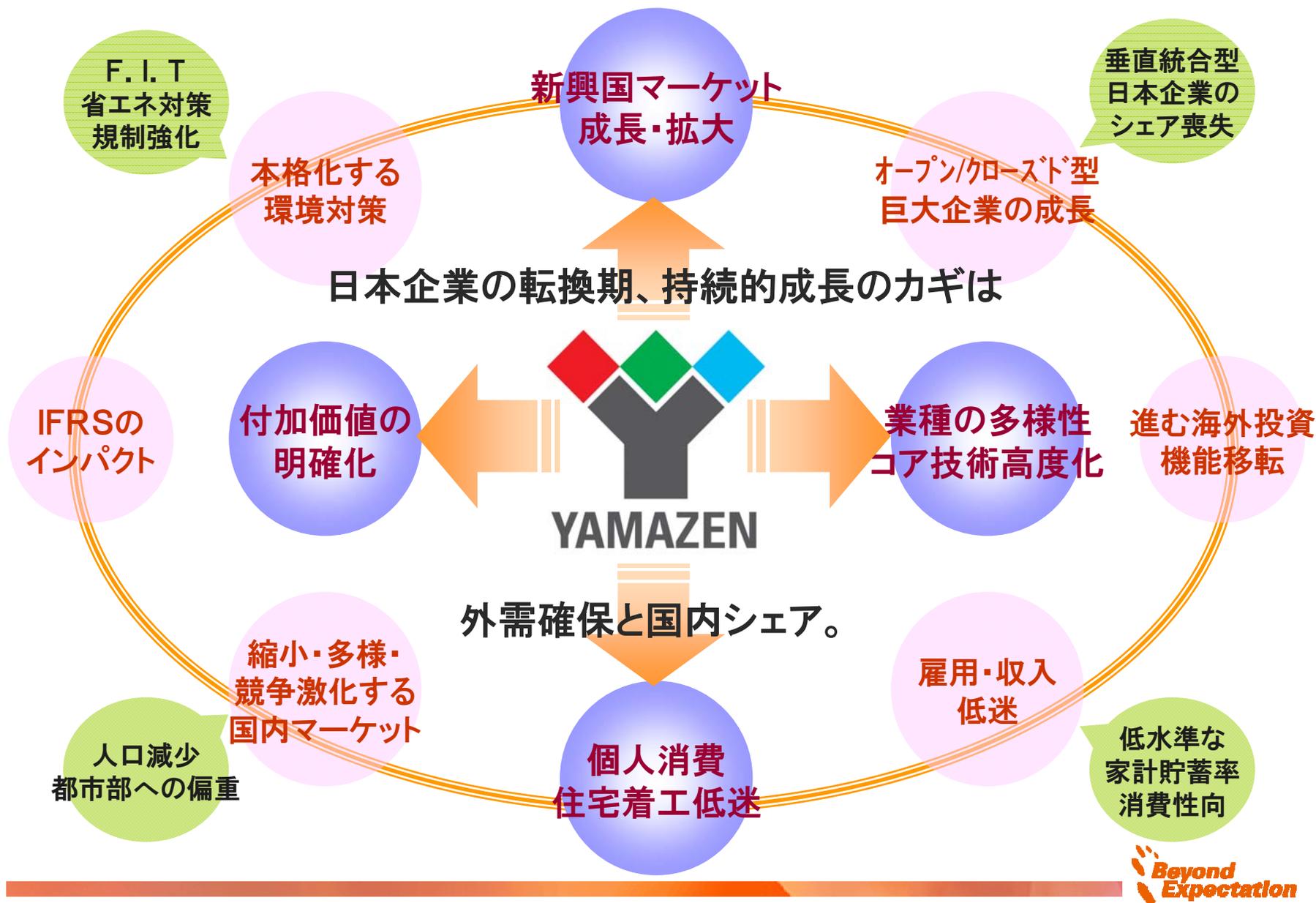
1. ビジョン、中期的経営方針
2. 事業環境(マクロ)と今後の方向性
3. 「VISTA-3S」で目指すもの
4. 「VISTA-3S」の戦略テーマ
5. 「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)

# ビジョン、中期的経営方針



ものづくりに貢献し、快適な生活空間を提供する存在感ある専門商社を目指す！

# 事業環境(マクロ)と今後の方向性





## 「VISTA-3S」で目指すもの



### 3つのテーマ、10のアクション。

3つの戦略テーマ(Strategy)で“イノベーション(新機軸)”を起こし、付加価値力、感動力、専門力、技術力、変化適応力を兼ね備えた企業へ。





# 「VISTA-3S」の戦略テーマ①



## S- I : 世界力 / グローバル対応

質重視によるCDへ

1. 国内外の顧客に、ボーダレスでワンストップなソリューションを実現します。



2. エンジニアリング機能と拠点網を充実させ、「質」の高いサービスを築きます。



特性を活かす

3. 商社 / ファブレス企業という特性を活かし、海外での新市場開拓と商品開発を進めます。



### World Network

- YAMAZEN INC. (Illinois)
- VEGA TOOL CORPORATION (Illinois)
- PLUSTECH INC. (Illinois)
- YAMAZEN CO.LTD. (Taipei)
- YAMAZEN (SINGAPORE) PTE. LTD. (Singapore)
- YAMAZEN (MALAYSIA) SDN. BHD. (Kuala Lumpur)
- PT YAMAZEN INDONESIA (Jakarta)
- YAMAZEN (THAILAND) CO.LTD. (Bangkok)
- YAMAZEN THAI ENGINEERING CO.LTD. (Bangkok)
- YAMAZEN (VIETNAM) CO.LTD. (Ho Chi Minh)
- YAMAZEN MACHINERY & TOOLS INDIA PRIVATE LTD. (Delhi)
- YAMAZEN (SHANGHAI) TRADING CO.LTD. (Shanghai)
- YAMAZEN (SHENZHEN) TRADING CO.LTD. (Shenzhen)
- YAMAZEN HONG KONG LIMITED (Hong Kong)
- YAMAZEN (KOREA) LIMITED (Seoul)
- YAMAZEN EUROPE GmbH (Stuttgart)



YAMAZEN CORPORATION



日本物流新聞Asia版創刊

Beyond Expectation



# 「VISTA-3S」の戦略テーマ②



## S-II : 専門力 / シェア・Web

流通での  
イニシアティブ

4. 工作機械 / 内外需受注のトップシェアを狙います。



5. 機械周辺機器で国内No1の取扱シェアを目指します。

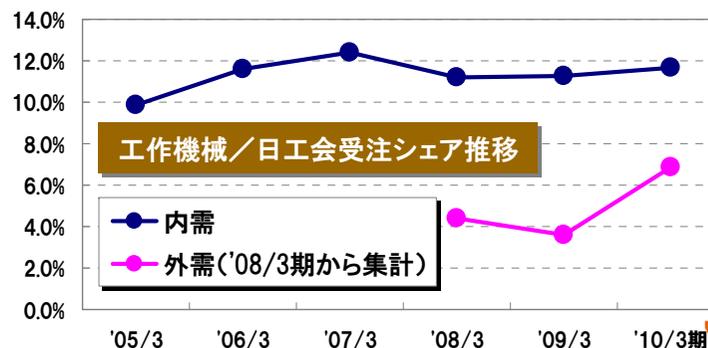


6. コンシューマ分野でPB商品の各カテゴリーNo1へ。  
主要取引先のインスタシェア3%を狙います。



ネット拡大

7. BtoB & C共に、ネットの取扱高を倍増させます。



Beyond Expectation



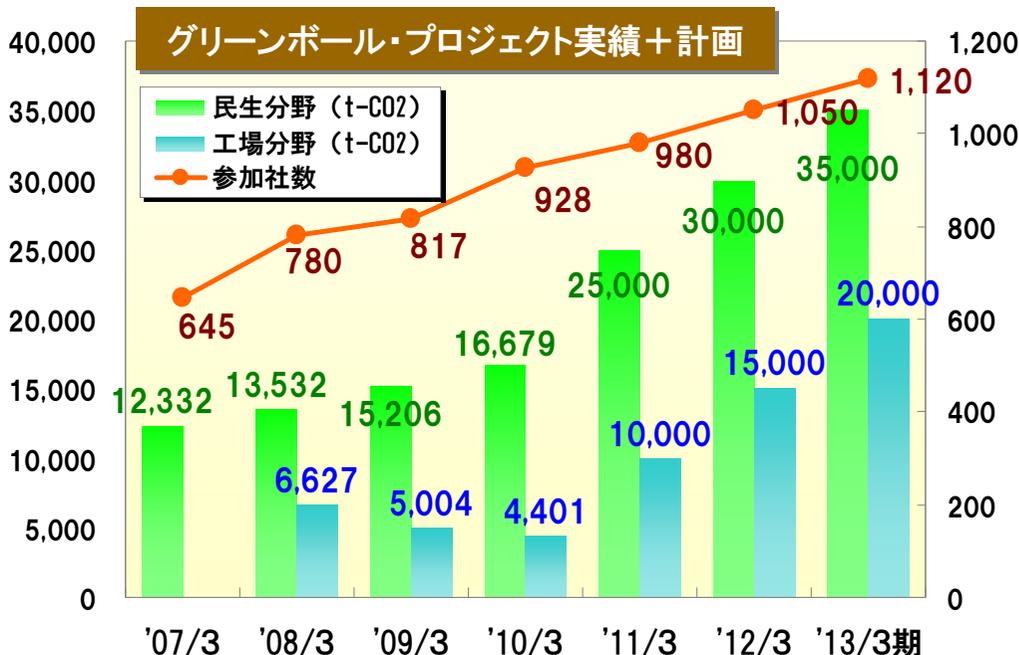
# 「VISTA-3S」の戦略テーマ②



## S-II: 専門力 / 環境ビジネス

環境対応

8. 環境関連機器の売上シェア25%へ。エネルギー関連機器、太陽光発電、エコキュート等の分野において国内トップクラスの取扱いを目指します。



Beyond Expectation



## 「VISTA-3S」の戦略テーマ③

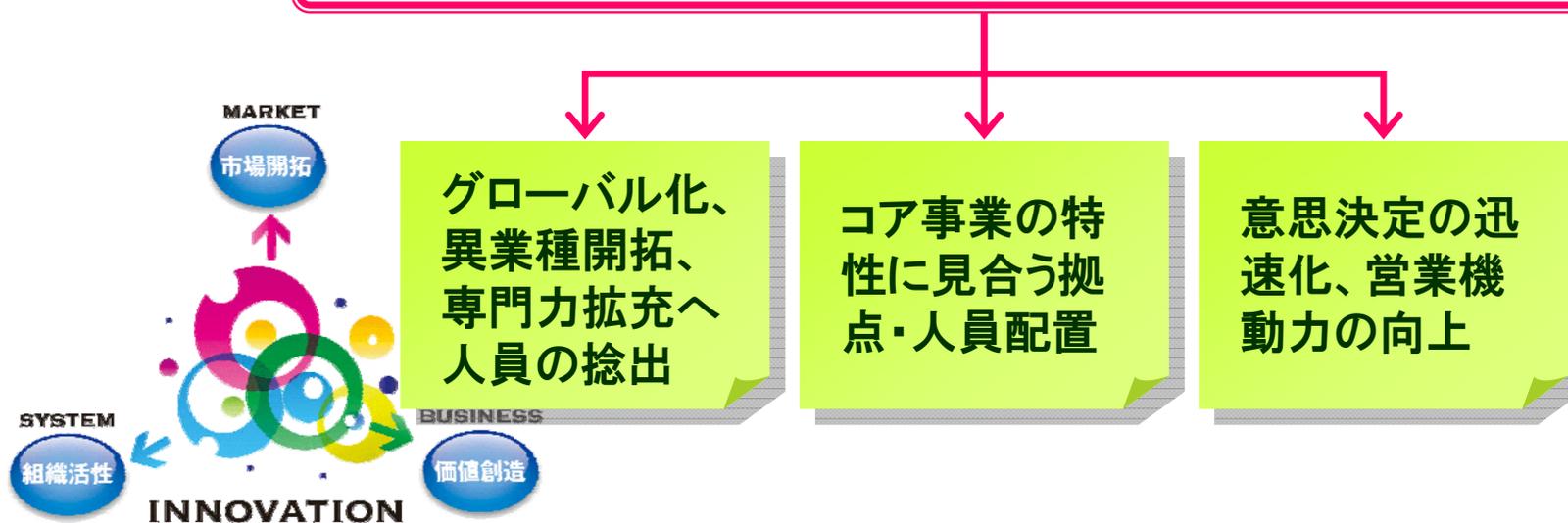
**VISTA3S**  
2010.4-2013.3

### S-Ⅲ：組織力／事業・インフラ整備

マーケット  
インへ

9. 国内外とも、高いスキルとノウハウを兼ね備えた人材の育成と、それを支援するITインフラの整備を進めます。

10. マーケットやニーズに即した事業体の再構築を実施します。





## 「VISTA-3S」3ヵ年定量計画(連結)①

### ■ 損益計画

(単位:百万円)	2010年3月期 (第64期)	2011年3月期 (第65期)	2012年3月期 (第66期)	2013年3月期 (第67期)
売上高	241,410	<b>270,000</b>	<b>300,000</b>	<b>350,000</b>
営業利益	836	<b>3,000</b>	<b>5,500</b>	<b>8,500</b>
経常利益	955	<b>3,000</b>	<b>5,500</b>	<b>8,500</b>
当期純利益	438	<b>1,650</b>	<b>3,000</b>	<b>4,800</b>

### ■ 主要財務指標

(単位:%)	2010年3月期 (第64期)	2011年3月期 (第65期)	2012年3月期 (第66期)	2013年3月期 (第67期)
売上高営業利益率	0.3%	<b>1.1%</b>	<b>1.8%</b>	<b>2.5%</b>
総資産営業利益率	0.7%	<b>2.3%</b>	<b>3.9%</b>	<b>5.5%</b>
CFマージン率	0.6%	<b>1.0%</b>	<b>1.7%</b>	<b>2.5%</b>



## 「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)②

### ■ 部門別売上高計画

(単位:百万円、%)	2010年3月期 (第64期)	2011年3月期 (第65期)	2012年3月期 (第66期)	2013年3月期 (第67期)
工 作 機 械 部 門	26,529	28,000	40,000	58,000
産 業 シ ス テ ム 部 門	39,754	46,000	51,000	58,000
機 械 工 具 部 門	38,382	45,000	48,000	52,500
(国内生産財合計)	104,667	<b>119,000</b>	<b>139,000</b>	<b>168,500</b>
住 設 建 材 部 門	47,751	49,000	51,000	57,000
家 庭 機 器 部 門	53,941	57,000	60,000	66,000
(消費財部門合計)	101,692	<b>106,000</b>	<b>111,000</b>	<b>123,000</b>
国 際 営 業 部 門	26,774	34,500	37,500	43,200
シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア リ ン グ 部 門	5,101	7,000	8,900	11,500
(海外生産財合計)	31,875	<b>41,500</b>	<b>46,400</b>	<b>54,700</b>
そ の 他 部 門	3,173	3,500	3,600	3,800
合 計	241,410	<b>270,000</b>	<b>300,000</b>	<b>350,000</b>

## IV. 2011年3月期の業績予想

1. 2011年3月期(第65期)定量計画
2. 部門別売上高計画(連結)



ベトナムを現地法人化、営業本格スタート  
(2010.04)





## 2011年3月期(第65期)定量計画

### ■ 損益計画

(単位:百万円、%)	2010年3月期 (第64期)	2010年9月 (第2四半期)	2011年3月期 (第65期)	前期比 増減率
売上高	241,410	130,000	<b>270,000</b>	11.8
< 単体 >	229,281	122,000	<b>255,000</b>	11.2
営業利益	836	1,100	<b>3,000</b>	258.9
< 単体 >	908	800	<b>2,400</b>	164.3
経常利益	955	1,200	<b>3,000</b>	214.1
< 単体 >	979	900	<b>2,400</b>	145.1
当期純利益	438	650	<b>1,650</b>	276.7
< 単体 >	365	500	<b>1,300</b>	256.2



## 部門別売上高計画(連結)

(単位:百万円、%)	2010年3月期 (第64期)	構成比	2011年3月期 (第65期)	構成比	前期比 増減率
工 作 機 械 部 門	26,529	11.0	<b>28,000</b>	10.4	5.5
産業システム部門	39,754	16.5	<b>46,000</b>	17.0	15.7
機 械 工 具 部 門	38,382	15.9	<b>45,000</b>	16.7	17.2
(生産財部門合計)	104,667	43.3	<b>119,000</b>	44.1	13.7
住 設 建 材 部 門	47,751	19.8	<b>49,000</b>	18.1	2.6
家 庭 機 器 部 門	53,941	22.3	<b>57,000</b>	21.1	5.7
(消費財部門合計)	101,692	42.1	<b>106,000</b>	39.2	4.2
国 際 営 業 部 門	26,774	11.1	<b>34,500</b>	12.7	28.8
システムエンジニアリング部門	5,101	2.1	<b>7,000</b>	2.6	39.2
(海外生産財合計)	31,875	13.2	<b>41,500</b>	15.4	30.2
そ の 他 部 門	3,173	1.3	<b>3,500</b>	1.3	10.3
合 計	241,410	100.0	<b>270,000</b>	100.0	11.8

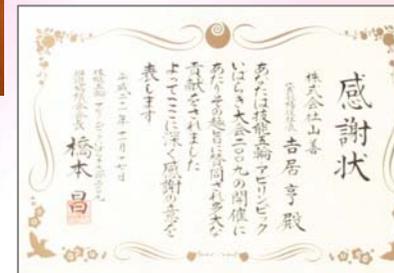
## V. コーポレートガバナンス、株主還元

1. CSR、コーポレートガバナンスの取り組み
2. 株主還元
3. 当期の配当



→  
技能五輪・アビリンピック協賛で  
茨城県より感謝状拝受  
(2010.03)

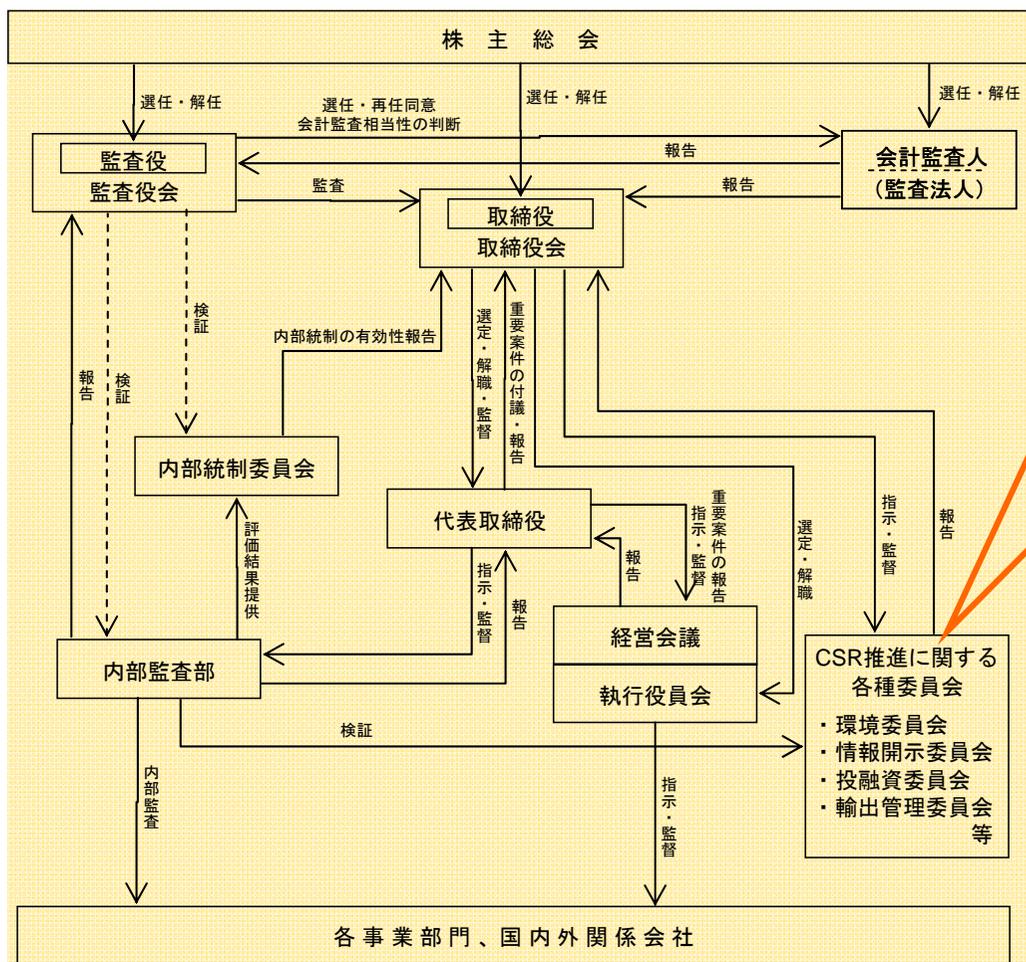
←  
ISO14001認証  
10年継続賞受賞  
(2010.03)





# CSR、コーポレートガバナンスの取り組み

- コンプライアンス面は、従来の委員会中心の活動体制から部署(職務)単位の実施へ、より内部統制システムと一体化した体制に変更。



- 一方、積極的に企業責任を果たす“前向きなCSR”活動も継続的に実施中。





# 株主還元

## □ 基本的な考え方

- △ 企業体質の一層の充実強化と収益力の向上を図り、株主の皆様へ安定的な配当を基本とした上で、利益水準を考慮し、連結配当性向は25%を目途に利益還元を行います。
- △ 内部留保金につきましては、株主資本の一層の充実を図りつつ、持続的な事業発展の実現に向けて有効な投資に充当し、中長期的な成長による企業価値向上を通じて、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

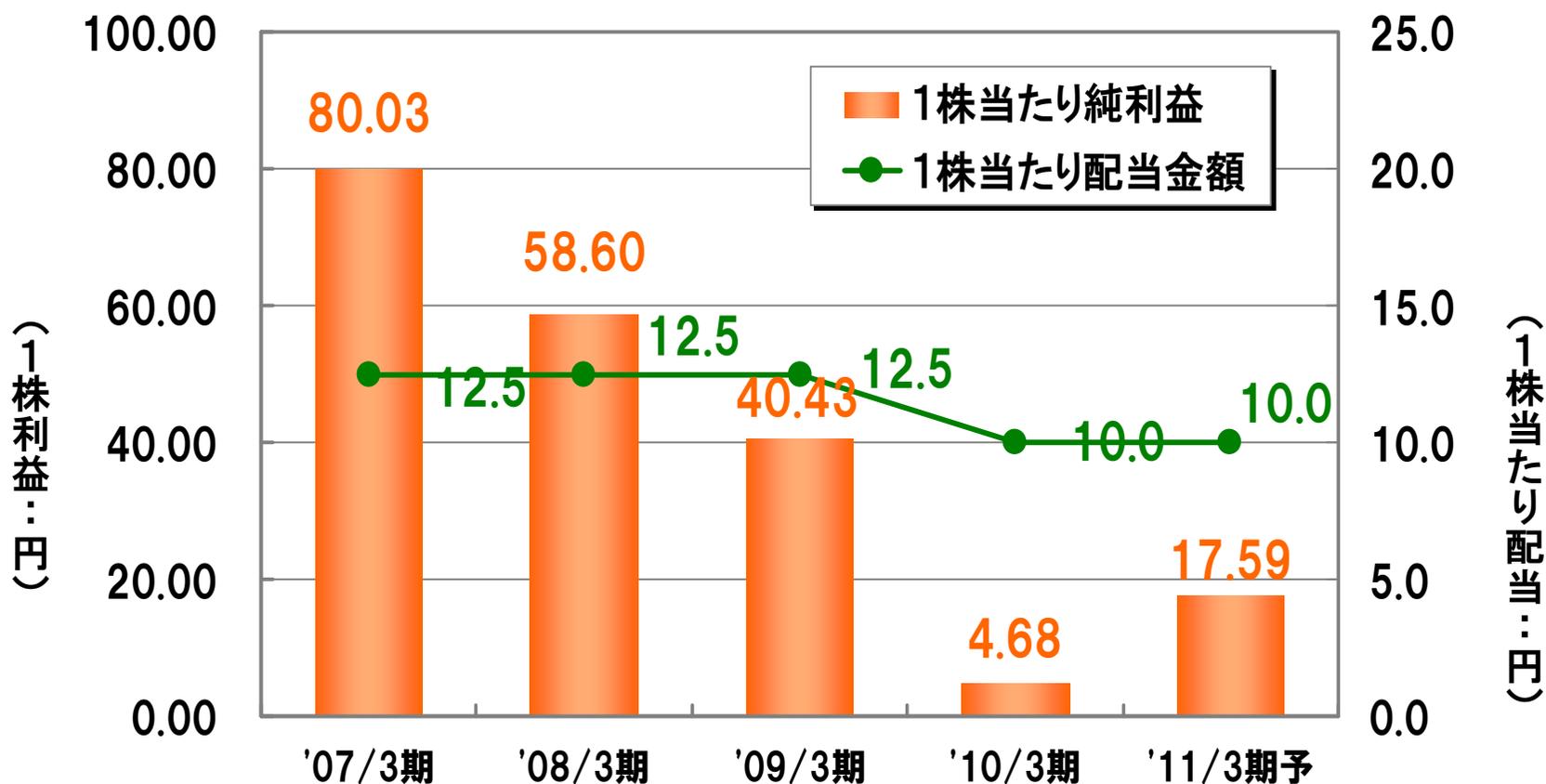
## ■ 配当金の推移

		'07/3実	'08/3実	'09/3実	'10/3実	'11/3予
連結配当性向		15.6%	21.3%	30.9%	213.7%	56.9%
配当金額	中間	—	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円
	期末	※12.5円	7.5円	7.5円	5.0円	5.0円

※期末配当金10.0円+記念配当2.5円

## 当期の配当

- 連結配当性向:56.9%を予定。
- 配当金額:中間5.0円+期末5.0円=年間10.0円を予定。





## お問い合わせ先

その他、弊社IRに関するご質問につきましては、  
弊社ホームページ( <http://www.yamazen.co.jp/> ) の「お問い合わせフォーム(IR)」を  
ご利用ください。

また、当社が発信するニュース・リリースなどの最新の情報をeメールにてお送りする「IRサービス(ディアネットサービス※)」をはじめました。ご希望の方は弊社ホームページ内の専用登録ページに必要事項を入力の上、ご登録(無料)ください。

### ▶ メール配信登録

当社のIRニュースをEメールにてお知らせいたします。



### ▶ 資料請求

当社のIR資料をお届けいたします。



※ディアネットサービスは(株)だいこう証券ビジネスが提供しています。



この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。